

○天気図の描き方

【始めに】

歩く会では主として登山、山スキー、クロスカントリーの計画前日に天候把握を目的として天気図をとっている。

【本講習会の目的】

ラジオで流される気象情報をもとに天気図を完成させることを目的とする。

【ラジオ】

NHK 第二放送が流している。周波数は場所によって異なる。札幌は 747kHz。放送時間は一日に三回。以下の時間に放送される。

① 9時10分～9時30分

② 16時～16時20分

③ 22時～22時20分

【放送内容の概要】

放送内容は大きく分けて以下の三つで構成される。

①各地の天気

天気図帳にあらかじめ表記されている¹地点の風向・風力・天気・気圧・気温が放送される。

放送される地点の順番は別紙参照。

②船舶からの報告

海上を航海中の船舶やブイからの情報を放送する。そのため毎回報告地点は一定ではなく、放送される緯度と経度の情報を基に自分で記入する。

③漁業気象²

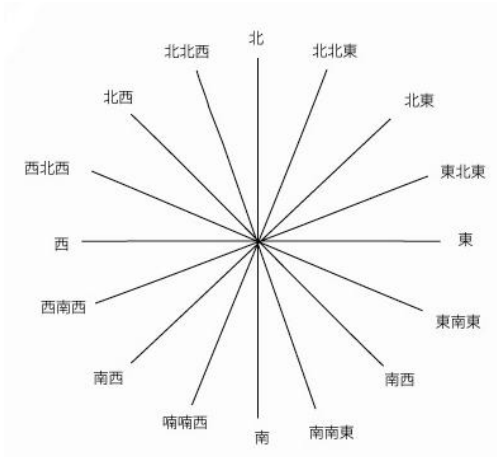
(霧情報)、低気圧、前線、高気圧、基本等圧線の順に放送される。この情報が天気図を作成する上で最も重要なものとある。

¹ 天気図帳によっては大阪がないものもある。その場合は自分で記入すること。

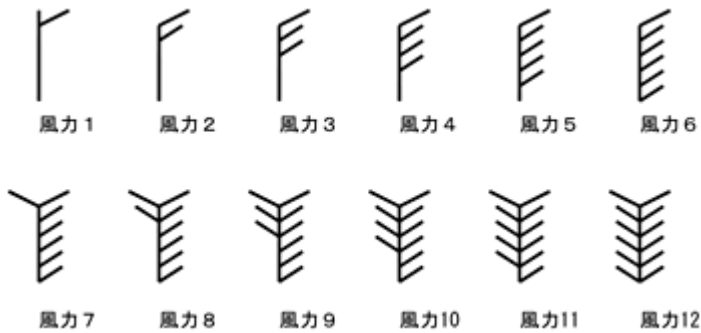
² この後海流の情報や射撃訓練の情報が入ることもある。

【天気図の記号と記入方法】

i) 風向：16方位が用いられる。



ii) 風力：気象庁風力段階が用いられる。風力7以降はかなり強い風。

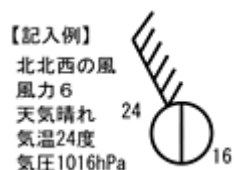


iii) 天気記号：快晴、晴れ、曇り、雨を覚えておけば8割はカバーできる。



iv) 気圧、気温の記入

気圧は 1015hPa なら 15 pHa、994 pHa なら 94 pHa と読み上げられる。記入するときも下二桁で良い。気温はそのまま。右に気圧、左に気温を書く。



v) 漁業気象の記入

高気圧や低気圧の位置とその状態を記入する。始めにプロットする地域が指定され、緯度、経度による気圧の中心の位置が言われる。その後で、大きさ、高気圧か低気圧か、進行方向、速度の順に読み上げられる。

<各前線と気圧>

温暖前線



寒冷前線



閉塞前線



停滞前線



高気圧

高 or H

低気圧

低 or L

台風

台 or T

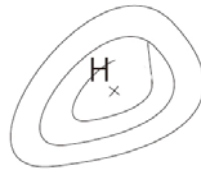
熱帯低気圧

TD

vi) 等圧線の記入

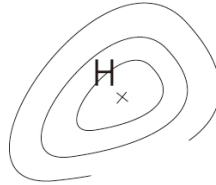
漁業気象の最後に基本等圧線が通る地点の緯度と経度が読み上げられる。読み上げられた地点を順に線でつなぐ。各地点の情報は直接印をつけるか、余白にメモする。放送終了後にこの点を各地の気圧と考慮しながら結んでいき、一本の基本等圧線を完成させる。最後はその基本等圧線を基に等圧線を引いていく。等圧線の間隔は夏の場合 2pHa で引く。また等圧線を引く際には以下のようなルールがあるので注意すること。

①等圧線は連続していて、飛び越えはしない。



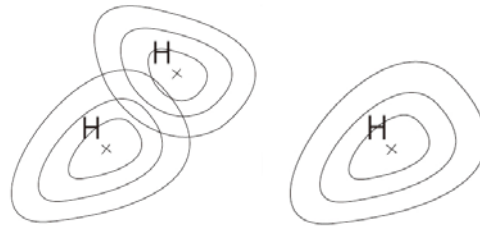
悪い例)

②等圧線は閉じた曲線であり、途中で切れた状態にはならない。天気図帳の端で書けなくなったとしても、全体としては円になっている。



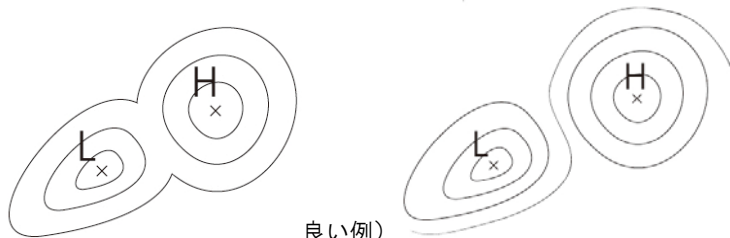
悪い例)

③等圧線は交差したり、枝分かれしたりすることはない。



悪い例)

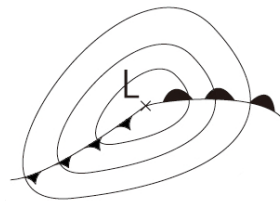
④高気圧と低気圧は同じくりにしない。



悪い例)

良い例)

⑤前線のところでは等圧線は前線に引っ張られる感じになる。等圧線と前線は直交する。



良い例)

○おおまかな説明はここまで。あとは練習あるのみなので、皆さん頑張ってください。

○付属：天気図FAQ

Q1：なぜ天気図をとるのか？

A1：山の天気は下界とは異なります。それは地形が生み出す山独特なものであり、テレビなどの天気予報では把握し切れません。山の遭難の50パーセントが気象によるものと言われていたほど、天候判断は山登りをする上で必要不可欠なものです。

Q2：天気図帳はどこで買えるの？

A2：秀岳荘やICで買えます。歩く会では「ラジオ用小型天気図帳—NHK ラジオ第二放送 気象通報受信用（クライム）」が愛用されています。価格は500円。

Q3：天気図帳にない地名が読み上げられているんですが…

A3：前述した小型天気図だと、セベロクリリスク、バスコ（ラワーグ）、マニラ、南鳥島は欄外になっています。このうちセベロクリリスクと南鳥島は、それほど杣から離れていないので自分で書き加えましょう。セベロクリリスクは北緯51度、東経156度、南鳥島は北緯24度、東経154度に位置します。

Q4：バイトなどで22時の天気図がとれない場合はどうすればいいの？

A4：9時または16時の天気図をとっても気圧配置は劇的に変化する可能性は低いので、そちらのものをとりましょう。ラジオを録音できる人は録音したものを取りましょう。どうしても無理な場合は、気象庁のホームページにラジオの原稿が掲載されています。ただ天気図の練習にはならないので極力避けましょう。

Q5：基本等圧線って何ですか？

A5：全体の等圧線を仕上げるのに基準となる等圧線です。これを聞き逃すと等圧線が正確に書けなくなってしまうので、始めのうちは余白にメモをとることをおすすめします。慣れたら聞きながら等圧線を引いてみましょう。また基本等圧線は放送の最後に読み上げられるため、放送終了時間が迫るとアナウンサーがすごく早口になるのでご注意ください…

Q6：等圧線の間隔はいくつで描くの？

A6：夏は2pHa、冬は4pHa ずつで等圧線を引きます。冬の方が等圧線の間隔は狭くなります。

Q7：山中でとるのはわかるけど、下界ならネットの天気図でもいいのでは？

A 7：山中で天気図をとる技術を下界で身に付けてください。

Q 8：山スキーでは天気図が描けないと昇段しないって聞きました。

A 8：縦走のような長期計画や、山スキーのような冬山に行く計画では天気図の重要性は増します。描けるようにしておきましょう。

Q 9：どうすれば上手くなるの？

A 9：練習あるのみです。縦走と山スキーをやると上手くなるという統計が発表されています。